オキサリプラチンの治療を受けられる患者さんへ

Contents

抗がん剤とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

外来化学療法とは・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

オキサリプラチンについて・・・・・・・・・・・・ 5

オキサリプラチンを用いた抗がん剤治療・・・・ 6

オキサリプラチン点滴中の注意事項・・・・・ 12

副作用について・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

オキサリプラチンの主な副作用・・・・・・・ 15

組み合わせて使用する薬の主な副作用・・・・ 20

分子標的薬の主な副作用・・・・・・・・・・・ 23

抗がん剤とは

抗がん剤は、点滴や飲み薬として体内に入った後、血液によって全身をめぐり、全身のがん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりする働きのある薬です。抗がん剤による治療を「化学療法」といいます。

抗がん剤には、たくさんの種類がありますが、がんの種類によって効果のある抗がん剤は異なります。また、がんの種類によっては、複数の抗がん剤を組み合わせた治療（多剤併用療法）が、効果的な場合があります。

外来化学療法とは

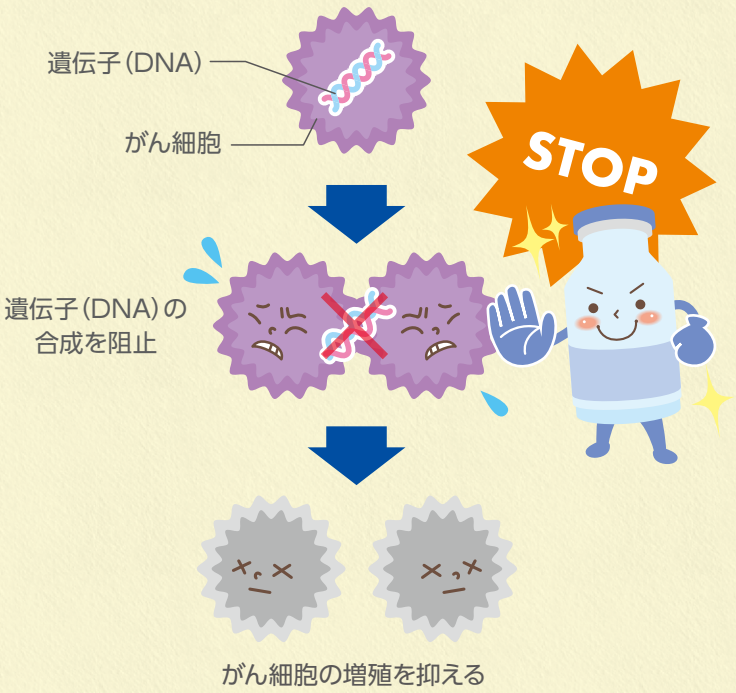
従来、抗がん剤治療は長期の入院が必要でしたが、治療の進歩により、最近では、外来通院で治療を受けられる「外来化学療法」が増えてきています。

外来化学療法では、点滴を受けるときや、治療経過を診察するときに通院するので、これまでの生活を大きく変えずに治療を受けることができます。一方で、副作用の基本的な管理などは、主治医、看護師、薬剤師の指導を受けて、患者さんご自身が行う必要があります。

外来化学療法を受けられるかどうかは様々な状況によりますので、詳しくは主治医にお尋ねください。

オキサリプラチンについて

オキサリプラチンは、日本で開発された白金製剤と呼ばれる種類の抗がん剤です。がん細胞が増殖する際に行われる遺伝子（DNA）の合成を阻止して、がん細胞の増殖を抑えたり、死滅させたりする働きがあります。



オキサリプラチンを用いた抗がん剤治療

オキサリプラチンは、下記のような薬と一緒に使われます。

オキサリプラチンと一緒に使われる主な薬

●フルオロウラシル
●カペシタビン
●テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム

代謝拮抗薬と呼ばれる種類の抗がん剤です。オキサリプラチンとは異なる方法で遺伝子（DNA）の合成を阻止します。

●レボホリナート

フルオロウラシルと一緒に使われる薬で、フルオロウラシルの効果を高める働きがあります。

●イリノテカン

トポイソメラーゼⅠ阻害薬と呼ばれる種類の抗がん剤です。オキサリプラチン、代謝拮抗薬とは異なる方法で遺伝子（DNA）の合成を阻止します。

●ベバシズマブ

分子標的薬と呼ばれる薬です。がん細胞に栄養や酸素を届ける血管が作られるのを阻止します。

●セツキシマブ
●パニツムマブ

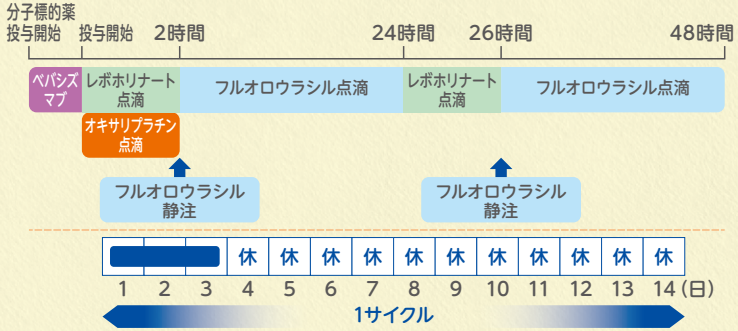
分子標的薬と呼ばれる薬です。がん細胞の増殖に関わるタンパク質の働きを阻止します。

大腸がん
胃がん

FOLFOX療法（フォルフォックス療法）

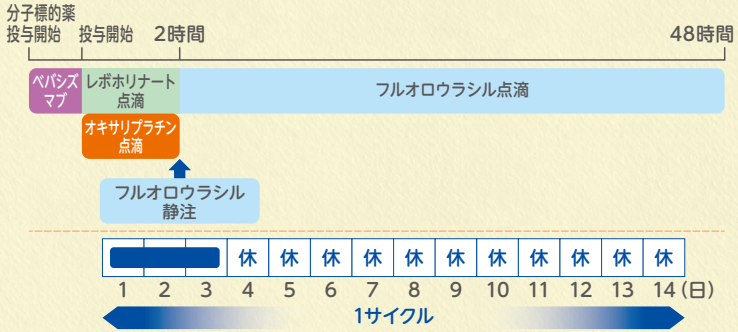
大腸がんの代表的な治療法である「FOLFOX療法（「フルオロウラシル」、「レボホリナート」と組み合わせて行う治療法）」に「ベバシズマブ」を併用した場合の一般的な治療スケジュールは、主に下記の2つがあります。

FOLFOX4+ベバシズマブ療法



▶ 1回の治療には約3日間かかります。この治療を2週間に1回行います。

mFOLFOX6+ベバシズマブ療法



▶ 1回の治療には約3日間かかります。この治療を2週間に1回行います。

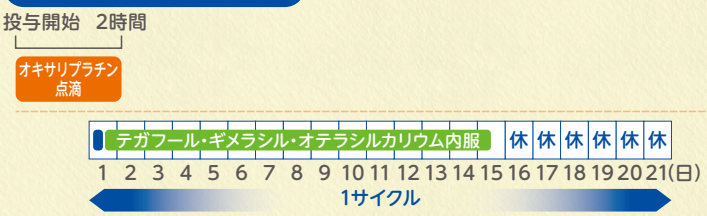
オキサリプラチンを用いた抗がん剤治療

大腸がん
胃がん

SOX療法（ソックス療法）

飲み薬の「テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム」と組み合わせて行う治療法です。

SOX療法



▶1回の治療には約15日間かかります。この治療を3週間に1回行います。

SOX療法の治療期間などについて

＜治療期間＞

患者さんによって異なります。詳しくは主治医にお尋ねください。

＜分子標的薬の投与＞

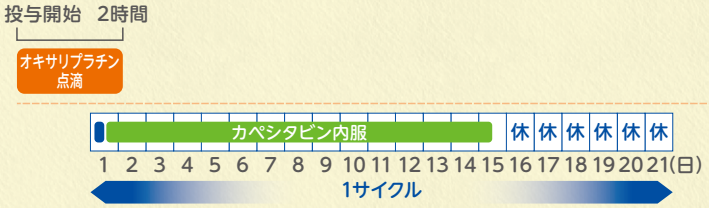
大腸がんの場合、各治療法の開始前に分子標的薬（ベバシズマブ）を投与することがあります。詳しくは、主治医にお尋ねください。

大腸がん
胃がん

CAPOX療法（カポックス療法）

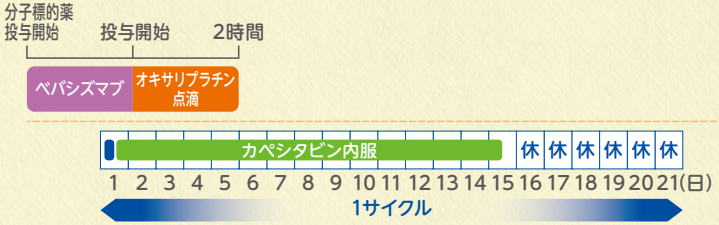
飲み薬の「カペシタビン」と組み合わせて行う治療法です。

CAPOX療法



▶1回の治療には約15日間かかります。この治療を3週間に1回行います。

CAPOX+ベバシズマブ療法



▶1回の治療には約15日間かかります。この治療を3週間に1回行います。

CAPOX療法の治療期間などについて

＜治療期間＞

患者さんによって異なります。詳しくは主治医にお尋ねください。

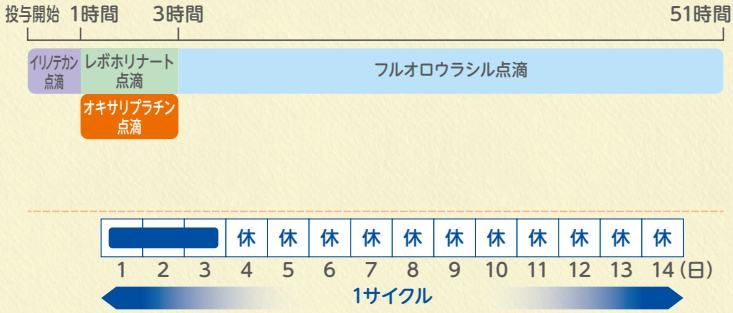
オキサリプラチンを用いた抗がん剤治療

大腸がん

FOLFOXIRI療法（フォルフォキシリ療法）

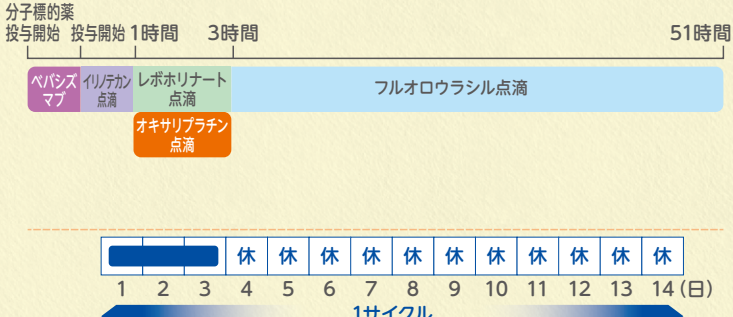
「フルオロウラシル」、「レボホリナート」、「イリノテカン」と組み合わせて行う治療法です。

FOLFOXIRI療法



▶ 1回の治療には約3日間かかります。この治療を2週間に1回行います。

FOLFOXIRI+ベバシズマブ療法

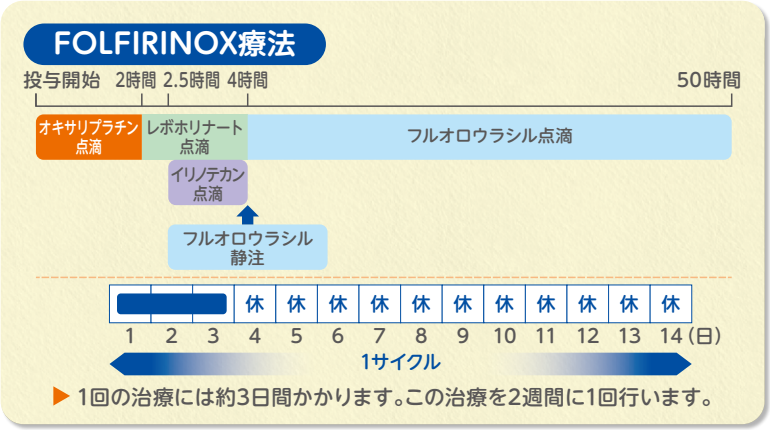


▶ 1回の治療には約3日間かかります。この治療を2週間に1回行います。

膵がん

FOLFIRINOX療法（フォルフィリノックス療法）

「フルオロウラシル」、「レボホリナート」、「イリノテカン」と組み合わせて行う治療法です。



FOLFIRINOX療法の治療期間について

＜治療期間＞

患者さんによって異なります。詳しくは主治医にお尋ねください。

オキサリプラチン点滴中の注意事項

オキサリプラチンの点滴を安全に行うために、点滴中は下記のことに注意してください。

下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフを呼んでください。**

- □皮膚のかゆみ
- □のどのかゆみ
- □蕁麻疹
- □息苦しさ
- □声のかすれ
- □動悸
- □くしゃみ
- □意識の混濁

点滴の針を刺している部位に下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフを呼んでください。**

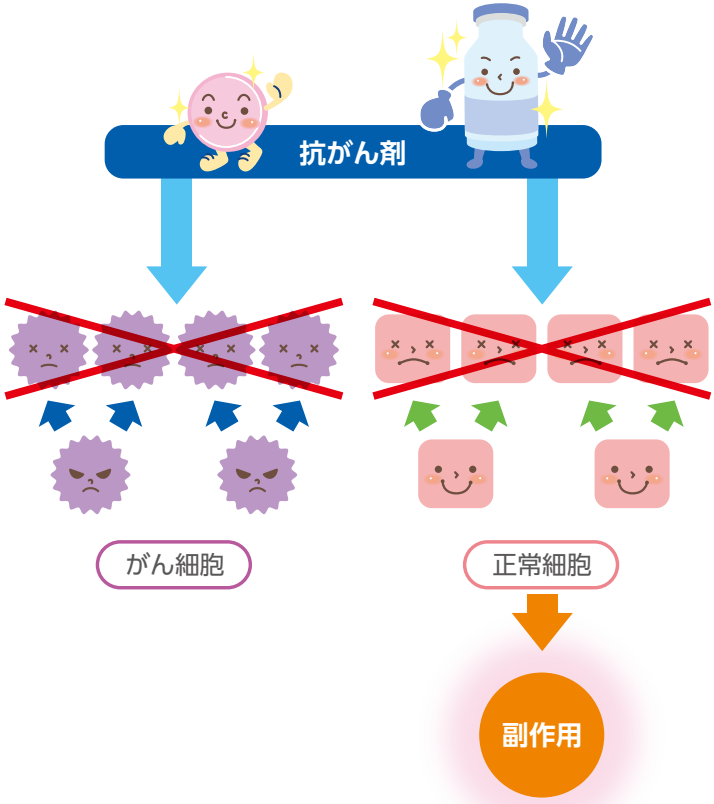
- □痛み
- □皮膚が赤い
- □腫れ
- □違和感

吐き気を感じましたら、我慢せずに医療スタッフを呼んでください。

体が冷えると副作用が出やすくなりますので上着を着用するなどして、からだを冷やさないようにしてください。

副作用について

抗がん剤は、全身のがん細胞にダメージを与える一方で、正常な細胞にもダメージを与えてしまいます。正常な細胞がダメージを受けることで起こる好ましくない症状が「副作用」です。特に、細胞の分裂が早い骨髄中の血液細胞、消化管の粘膜細胞、毛根の細胞などはダメージを受けやすく、副作用として症状が起こりやすい部分となります。

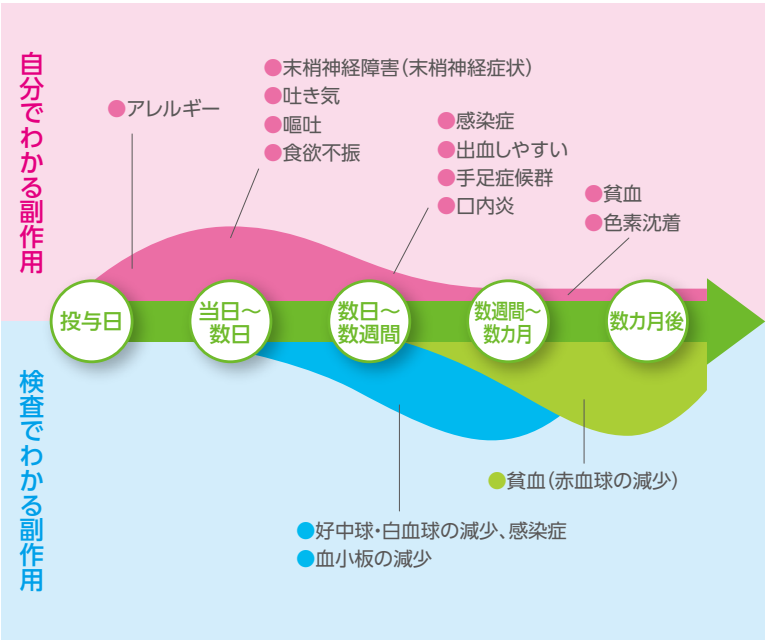


副作用について

抗がん剤治療を受けると何らかの副作用があらわれることがあります。いつ頃、どのような副作用が起こるかは、下記のようにある程度は分かっています。事前に起こりやすい副作用を確認し、適切な対策を行うことで、症状を和らげ、より良い治療を続けることができます。

次のページからは、主な副作用とその対策を記載していますので、確認してください。

起こりやすい副作用と、およその時期



オキサリプラチンの主な副作用

末梢神経障害

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、多くの患者さんに起こります。



症　状

- しびれ
- 刺すような痛み
- 感覚異常
- のどが締め付けられるような感覚

冷たい空気や物に触れることで症状が起こりやすくなる・悪化する

- 冷たい食べ物や飲み物は避けましょう。
- 冷たい空気や物に、皮膚が直接触れないようにしましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

2～3日で改善することが多いですが、治療を長く続けていると改善が遅れたり、下記のように症状が悪化したりする場合があります。

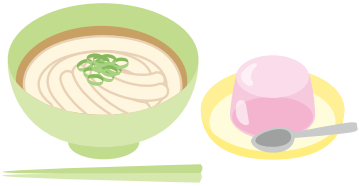
- 手、足などがしびれて文字を書きにくい
- ボタンをかけにくい
- 飲み込みにくい
- 歩きにくい

オキサリプラチンの主な副作用

吐き気／嘔吐／食欲不振

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、多くの患者さんに起こります。



症　状

- 吐き気がする
- 嘔吐する
- 食欲がない

- 食べられるときに少量ずつ食べましょう。
- 消化の悪いものは避けましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 食事や水分をほとんど摂ることができない

感染症（白血球減少）

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。



症　状

- 発熱
- 寒気
- 咳
- のどの腫れ・痛み

- 手洗い・うがい・マスクなどの風邪対策をしましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 38℃を超える発熱がある

出血しやすい(血小板減少)

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、
起こることがあります。



症　状

- 出血しやすい(口や鼻など)
- 出血が止まりにくい
- あざができやすい

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●血便 ●身に覚えのないあざ ●口の中に血豆 ●出血が止まらない

貧血(赤血球減少)

起こりやすい時期

点滴後数週間から数カ月間に、
起こることがあります。

症　状

- 白目、唇が青くなる
- めまい
- 動悸
- 息切れ



●睡眠や休息を十分に
とりましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

●上記のような症状がある

オキサリプラチンの主な副作用

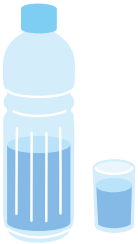
下痢

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、
起こることがあります。

症　状

- 軟便・水様便になる
- 排便の回数が増える
- 腹痛



- 脱水症状にならないよう、こまめに水分をとりましょう。
- 消化のよいものを食べましょう。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 治療前に比べて1日7回以上、排便が増えている

前頁以外にも、下記のような重大な副作用が起こることがあります。このような場合は、すぐに医療スタッフに連絡してください。

- 発熱、から咳（かわいた咳）、呼吸困難［間質性肺炎・肺線維症］
- 発熱、貧血症状、紫斑［溶血性尿毒症症候群］
- 鼻血、歯ぐきの出血、四肢などの皮下出血［薬剤誘発性血小板減少症］
- 貧血症状、皮膚や結膜などが黄色くなる、赤褐色尿［溶血性貧血］
- 視野の中に見えない部分がある、目のかすみ［視野欠損・視野障害・視神経炎・視力低下］
- 局所の痛み、圧痛、紅斑［血栓塞栓症］
- 動悸、胸部不快感、急激な前胸部の圧迫感［心室性不整脈・心筋梗塞］
- 激しい腹痛、腹部膨満感、吐き気［肝静脈閉塞症］
- 尿量減少、むくみ、頭痛［急性腎不全］
- ふらつき、言語障害、けいれん［白質脳症］
- 意識障害、手の羽ばたき振戦（震え）［高アンモニア血症］
- 手足の筋肉の痛み、脱力感、赤褐色尿［横紋筋融解症］
- 耳がきこえにくい、耳鳴り、声や音がきこえない［難聴］
- 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜などが黄色くなる［肝機能障害］

組み合わせて使用する薬の主な副作用

手足症候群（フルオロウラシル・カペシタビン）

起こりやすい時期

点滴や内服開始後数日から数週間後に起こることがあります。

症　状

手や足が

- ヒリヒリ・チクチクする
- 赤く腫れる
- ひび割れや水疱ができる



- 手のひらや足のうらをよく観察して早く症状に気づく様にしましょう。

！次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 赤く腫れている、痛みがあるなど上記のような症状がある

口内炎（フルオロウラシル・カペシタビン・テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム）

起こりやすい時期

点滴や内服開始後数日から数週間後に起こることがあります。

症　状

口の中が

- 腫れる
- ただれる
- 痛む



- 口の中を清潔に保ち、うるおった状態を保ちましょう。

！次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 強い痛みがある
- 痛みで食事や水分摂取することが難しい

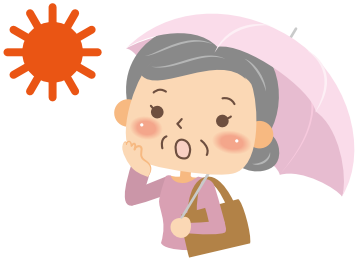
色素沈着（フルオロウラシル・テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム）

起こりやすい時期

点滴後数週間から数カ月間に、起こることがあります。

症　状

- 皮膚や爪の色が黒味を帯びる
- 黒い斑点状のものがあらわれる



- 直射日光を避け、日焼け止めクリームを使用するなどしましょう。

！ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 上記のような症状がある

流涙［涙がでる］（カペシタビン・テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム）

起こりやすい時期

点滴後数週間から数カ月間に、起こることがあります。

症　状

- 涙がでる
- 目が充血する
- 目が痛い
- 見にくい



- 症状がみられましたら、医療スタッフに相談してください。

！ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 少しでも眼に違和感を感じる

組み合わせて使用する薬の主な副作用

下痢（イリノテカン・フルオロウラシル）

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、
起こることがあります。

症　状

- 軟便・水様便になる
- 排便の回数が増える
- 腹痛



- イリノテカンでは、特に下痢が起こりやすいです。

次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 治療前に比べて1日7回以上、排便が増えている

分子標的薬の主な副作用

ベバシズマブ

- 高血圧
- 鼻血などの粘膜からの出血
- 尿にタンパクがでる

＜重大な副作用（頻度は少ない）＞

- 消化管に穴があく［消化管穿孔］
- 傷口が治りにくくなる［創傷治癒遅延］
- 腫瘍（がん）からの出血
- 動脈や静脈の中に血のかたまりができる［深部血栓塞栓症など］
- けいれん発作、視野の異常など［可逆性後白質脳症症候群］

セツキシマブ・パニツムマブ

- にきびのような発疹、皮膚の乾燥・炎症
- イオン（電解質）バランスの異常
- 結膜炎・角膜炎などの目の異常

＜重大な副作用（頻度は少ない）＞

- 肺の炎症［間質性肺炎］
- 薬に対するアレルギー反応［インフュージョン・リアクション］
- 心臓の機能低下［狭心症・心筋梗塞］（主にセツキシマブ）

Memo

Memo

Memo

緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名　　科

お問い合わせ窓口

memo

発行：2026年
監修：国立大学法人旭川医科大学
内科学講座 消化器内科学分野 教授
藤谷 幹浩 先生
提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、転載することは法律で認められた場合を除き禁じられています。

F-9b
2026年4月作成
DC-005518_01